

CIR Newsletter

ニュージーランド出身香取市国際交流員
花田サミュエル卓也(サム)

最終のニュースレター

驚かれる方もいるかもしれませんが、今回が私にとって最後のCIRニュースレターとなります。今年7月をもって、香取市役所での勤務を終了することとなりました。今月のニュースレターでは、この3年間の香取市での生活を振り返りたいと思います。

2022年8月、大学を卒業したばかりで全く知らない佐原にやってきた私は、不安でいっぱいでした。うまくやっていけるのか、人間関係を築けるのか、自分の役割を果たせるのか... 最初の数か月はなかなか慣れず、戸惑う日々もありました。しかし、徐々に地域の皆さんに受け入れていただき、香取市が「第二の故郷」と呼べる存在になっていきました。

私の仕事の多くは、香取市のさまざまな魅力を海外に発信することでした。最初は何かもが新しく、大変なこともありましたが、自分自身の発見を皆さんと一緒に共有できることは本当に嬉しい経験でした。また、日本にしながら、ニュージーランドの文化や習慣の違いをお伝えする機会もあり、とても貴重な3年間となりました。



中でも最も印象に残っているのは、夏・秋の佐原の大祭に参加させていただいたことです。外国人として、そして日本のハーフとしてこの伝統に関わることができたことは、かけがえのない経験でした。これまで一度もこのような行事に参加したことがなかったのに、皆さんが温かく迎え入れていただいたから、心より感謝しています。言葉では言い表せないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。これからもまた、どこ行っても頑張ってお祭りに関わっていけたらと思っています。

お祭り以外にも、香取市内の多くのイベントに参加させていただき、地域の皆さんと深く関わることができました。マレーシアやシンガポールなどでのプロモーション活動を通じて、香取市の魅力を世界に発信する機会もありました。また、姉妹都市であるサイパンとの架け橋として通訳を務めさせていただいたことも、最高の経験でした。



これまで、ニュースレターやSNSを通じて、私自身の生活の一部やニュージーランドの文化、香取市に関する情報・魅力を発信してきました。このたび香取市を離れることとなり、様々の貴重な経験と大切な思い出ができ、新たな一步を踏み出します。地域の皆さまの温かさや優しさは、私の心に深く刻まれました。香取市での職務は一区切りとなりますが、今後も香取市の魅力を違う場面で広げるつもりです。また祭りにも参加するのでその時も声をかけください。

香取の皆さん、これまで本当にありがとうございました。この3年間、皆さんの歴史の一部になれたことを心から光栄に思います。次にこの役割を担う方が、私と同じように温かく迎え入れてもらい、この街を好きになってもらえたら嬉しいです。

香取市役所での勤務は終了しますが、これからの活動は引き続きSNS (@_samosas_) でご覧いただけます。これからも日本に滞在し、佐原にもよく訪れる予定なので、見かけた際や何かあればぜひ気軽に声をかけたり、ご連絡いただけたら嬉しいです。



@_SAMOSAS_